



幹周り9.75m、樹高15mの女飯盛木(数値は現地案内板より)。ケヤキとしては県下最大級だという。多賀町の天然記念物、滋賀県の自然記念物に指定。

飯盛木

伝説と歴史の舞台を歩く

犬上郡
多賀町
DATA

● 歩行距離 約3km
● 歩行時間 約1時間

「お多賀杓子」の縁起を伝える一本の古木

彦根市高宮町(かつての中
山道高宮宿)から多賀大社へ
向かう旧道を進むと、ビール
工場の東に広がる田園風景
の中に2本のケヤキの大本が
見える。地元では「飯盛木(い
もろぎ)」と呼ばれる名木だ。
奈良時代初頭の養老年間
(717~724)、元正天
皇の病氣平癒を祈念して、多
賀大社の神官らが強飯を炊
き、シデの木で作った杓子で
飯を盛って献上したところ、
天皇はたちまち治癒したと
伝わる。延命長寿のしるしと
して有名な多賀大社のお守
り「お多賀杓子」は、この縁起
によるものだ。

「飯盛木」の案内板の説明
を読むと、杓子のもとになっ
た木の残り枝を地に差した
ところ、根を張り大木に育つ



モデルコース

多賀大社前駅 8分 多賀尼子バス停 5分 男飯盛木
3分 女飯盛木 25分 多賀大社 10分 多賀大社前駅

※バス利用の場合、彦根駅から「多賀大社前駅」行きバ
スで約35分「多賀尼子」下車

※移動時間はあくまでも目安です。

たのがこの木だという。シデ
とケヤキの違いはあるが、こ
こは伝説という物語の世界に
浸って歩いてみよう。
近江鉄道の多賀大社前駅
から名神高速道路の高架を
くぐり、尼子の集落を抜ける
と、太い幹を傾けた男飯盛
木、その西200mほど先に
女飯盛木が並ぶ。樹勢は女

飯盛木に感じるが、男飯盛木
の姿にも趣がある。
ちなみに、多賀大社にある
絵図「多賀参詣曼荼羅」に描
かれた男女の丑の刻参りの
木はこの「飯盛木」だとい
う。なにやら恐ろしい気配も
漂う。多賀大社前駅に複写
の絵図があるのでぜひ一
見を!

「飯盛木」ゆかりの多賀
大社にも参拝しよう。門
前町の絵馬通りでは、
「開運! 近江の地獄めぐり」を来年の3月末ま
で開催中。桜町延命地
蔵尊の閻魔大王や真
如寺の地獄絵図をはじ
め、参道のお店をめぐ
って楽しい(?)地獄を体
験し、厄を落として、最
後に多賀大社で大願
成就なるか!?



多賀大社

“Walk on”とは

「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの通行人のような「端役」の
意味があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな“近江”という舞台を、登場人物
のひとりになった気分歩いてみてはいかがでしょうか。

ねっとも会員限定バックナンバー(過去2年間)を
KEIBUNホームページ「湖国滋賀ウォーキングマップ」で公開中!

http://www.keibun.co.jp/members/30th_walking/

KEIBUN友の会会員カードの提示で「開運! 近江の地獄めぐり」の特典付サービスマップ(500円)が50円引きでご購入いただけます。

お問い合わせ: 多賀観光協会 TEL.0749-48-1553